

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LikePot久留米中央		
○保護者評価実施期間	令和6年11月13日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和6年11月13日		～ 令和6年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年1月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個室を2つ準備しており、落ち着きたい時には使用できる。 また、パーテーションなどを使用する場合もある。	テンションが上がりすぎてしまって疲れている子・気持ちが落ち着かない子・周りの音が気になり宿題などに集中できない子などの色々な状況の子ども達のために、個室を準備している。 一人になりたくないが、周りの利用者の行動が気になって目で追ってしまう等の場合はパーテーションを使用している。	パーテーションの数が現在少ないため、状況を見ながら増やしていく。
2	防犯等の対策としてインターホンの取り付けを行っている。	ミーティングの際に防犯についての話し合いを行っている。 不審者対策についてを話し合っている。	現在、インターホンが鳴り手動で開け閉めを行っている状況しかし時間がかかるため、オートロックインターホンを検討中。保護者様の待ち時間やスタッフのことも考え検討している。また、避難訓練の際に不審者対策も行っていく。
3	利用者の年齢層が幅広い。	活動の中で、色々な年齢の子との関わりができることを意識したり、利用者に合わせて公共交通機関の使用や公園・クッキングなどの活動を考えている。	利用者の想いだけでなく保護者の想いもしっかりと聞いていきながら、特性や年齢に合った活動を、現在よりもっと良いものにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	机のサイズが大きいものか小さいものしかない。 小さいものは大きさを調整できるが限られている。	2年生や3年生になってくると小さい机は小さすぎてしまい、大きい机だと大きすぎてしまう。	どの学年の子でも合う机をいくつか検討していき購入を考えていく。
2	専門的な関わりを運動メニューや課題の中で取り組んでいるが、長期休暇時の活動の中で、特性に合わせた活動があまり入れられていない。	全員の特性に合わせた活動を考えることは難しい為、2つほど活動を考え、特性に合わせた提供ができるよう検討していく。	まずはそれぞれの特性をスタッフ間でしっかりと話し合っていき、活動を検討していく。
3			